

赤小子どもまつりについて

特別活動部主任 保坂 司

特別活動部とは、クラブ活動や委員会活動、ユニセフ活動、青少年赤十字活動等、授業以外の場で、子供たちが主体的に活動をする場を企画運営する部署です。

昨年度は、感染対策でそれらの活動は大幅に制限されました。そして気付いたのは、学校生活を楽しくし、子供たちを成長させるのは、この特別活動も大きな役割を果たしていたということです。まだまだ感染については油断できない状態ですが、子供たちのよりよい成長のために、同学年間の横のつながりと、異学年間の縦のつながりを大切にしていくなために、7月に「赤小子どもまつり」を行います。

日時 7月13日(火)13:15～14:20

内容 クラスごとにお店を運営し、児童が交代でお店の仕事をしたり、他のお店で遊んだりする。

2年ぶりの子どもまつりなので、子供たちはとても楽しみにしており、準備にも力が入っています。私たち教職員一同も安全に、そして充実した活動ができるように、子供たちをサポートしていきます。

論理的思考力を高める算数授業

算数少人数担当 樋口智治

今年も、本校の研究は算数です。論理的思考力を高める授業を研究しています。実態として、筋道を立て、根拠をもって考えようとするができるようになってきましたが、それを表現する力については、まだ課題が見られます。論理的思考力を高めるために、自分の考えをもち、ペア・グループ学習や集団検討を通して、「図や表やグラフなど」と「言葉」を結び付けて表現する力が重要です。数学的表現力(言葉、図、式、グラフ等)で説明する活動を取り入れて指導しています。

算数では、3年生から6年生は習熟度別少人数指導を行っています。2学級の学年だと、3展開、3学級の学年は4展開ということになります。他の教科ではこのような展開を行っていません。では、なぜ算数だけ習熟度別少人数指導を行っているのでしょうか。算数は、他教科に比べて学力差がつきやすい教科であると言われています。学級の人数が多いと、学習につまずきのある子供へのサポートがままならないのが現状でした。そのため、1クラス当たりの人数を減らし、習熟度別に分けることによって、より一人一人の個に応じた指導ができるようにしています。

道徳地区公開講座について

道徳科担当 山口光太郎

6月5日(土)、19日(土)に、道徳授業地区公開講座を行いました。保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただきありがとうございます。

「特別の教科 道徳」の授業では、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める学習を行っています。「もし自分だったらどうするだろうか」などと考えたり、友達との話し合いを通して自分の考えを深めたりする子供たちの姿が見られました。

これからも道徳科の充実を図り、子供たちの豊かな人間性を育てていきます。



教育実習について

3年担任 高野さおり

5月31日(月)から6月25日(金)まで、教育実習が行われました。主に3年2組の児童と一緒に、学習したり遊んだりして過ごしました。

理科「風やゴムの力」では、帆掛け車を使って、風の強さによって帆掛け車が動く距離を調べる学習を行いました。3年生にとっては初めての実験で、とても楽しく学習ができました。この後、ゴム車を使ってゴムの力について学習を進めていきます。

赤坂小での経験を生かし、これからも頑張りたいと思います。

